

JIS

選鉱，選炭 及び 砕石・砂利選別の 操業系統の表示方法

JIS M 4001-1985

(2007 確認)

昭和60年7月1日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

著作権法により無断での複製、転載等は禁止されております。

主 務 大 臣：通商産業大臣 制定：昭和 30.3.5 改正：昭和 60.7.1 確認：平成 2.7.1

官 報 公 示：平成 2.7.17

原案作成協力者：社団法人 日本産業機械工業会

審 議 部 会：日本工業標準調査会 資源エネルギー一部会（部会長 松本 敬信）

この規格についての意見又は質問は、工業技術院標準部材料規格課（〒100 東京都千代田区霞が関 1 丁目 3-1）へ連絡してください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

選鉱、選炭及び砕石・砂利選別の M 4001 -1985 操業系統の表示方法

(1990 確認)

Methods of Presentation of Flowsheet for Mineral, Coal and Rock Processing

1. 適用範囲 この規格は、選鉱作業、選炭作業及び砕石・砂利選別作業における操業系統の表示方法について規定する。

2. 表示様式

2.1 表示様式の種類 表示様式は、次の2種類とする。

- (1) 甲号様式 系統を符号(機械の符号と産物の略号)で表す際に用いる。
- (2) 乙号様式 系統を文字(機械の名称と産物の略号)で表す際に用いる。

2.2 甲号様式 主要作業段階に区分して各作業段階の下にその区分に属する機械、産物などを配列し、流れの方向を矢印の付いた直線で示す。ただし、砕石・砂利選別作業の操業系統は、操業の流れの順序に機械、産物などを配列し、流れの方向を矢印の付いた直線で示す。

- (1) 機械の符号は、付表1-1~1-3によって表示し、給鉱・給炭・給石・産物の略号は、付表2によって表示する。
- (2) 各機械にそれぞれ番号を付け、系統図の欄外(余白のないときは別紙)にその番号に基づいて各機械の形式・名称、寸法(mm)(又は公称能力)、回転数(rpm又は速度)、設備動力(kW)、台数(又は区数)及びその他必要事項をこの順に記載する。
- (3) 給鉱・給炭・給石・産物の経路の表示方法は3.1による。

2.3 乙号様式 操業の流れの順序に機械名・産物名などを配列し、それらを直線で結ぶ。
次の二つの様式を定める。

2.3.1 乙号-1様式 各機械の形式・名称に寸法(mm)(又は公称能力)及び台数(又は区数)を書き加えて系統図を作る。

- (1) ふるい類は、目の大きさ(mm又は μm)を末尾に記入する。
- (2) 台数1の場合は、その記入を省略する。
- (3) 機械の形式・名称は、その寸法(mm)(又は公称能力)及び台数(又は区数)の数字と共に長方形で囲む。
- (4) 給鉱・給炭・給石・産物の略号は、付表2によって表示する。
- (5) 中間産物は、その略号を円で囲む。
- (6) 最終産物は、その略号を2重円で囲む。
- (7) 機械のうち、原則として運搬機類及びポンプは省略する。
- (8) 給鉱・給炭・給石・産物の経路の表示方法は3.2による。

2.3.2 乙号-2様式 各機械の形式・名称だけを書き、系統図を作る。

- (1) 機械のうちには、運搬機類及びポンプを含むものとするが、これらは付表3の略号によって表示する。
- (2) 各機械にそれぞれ番号を付け、系統図の欄外(余白のないときは別紙)にその番号に基づいて、それぞれの機械の形式・名称、寸法(mm)(又は公称能力)、回転数(rpm又は速度)、設備動力(kW)、台数(又は区数)及びその他必要事項をこの順に記載する。ふるい類は、目の大きさ(mm又は μm)をその